

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○8月16日～

米国の株価が史上最高値更新となりましたがミシガン大学消費者信頼感指数が予想外に悪く、少し下げて相場は終わっています。

米国は早ければ秋から金融緩和縮小（テーパリング）に向けて動き出すとも言われているので最後の宴状態の米株がどこまで続くかがポイントになってきそうです。

為替相場は比較的安定した動きが続いていますがニュージーランドやカナダはすでに金融緩和縮小方向へかじ取りを始めているため今年後半には大きな流れが出てくる可能性があります。

<ドル/円>

ドルは109.6円あたりまで下げてきました。

前回安値の108.7円を維持できれば再度111円トライの可能性がありますが108.6円を割り込むと107.5円あたりが次のサポートとして意識されそうです。

<気になるクロス円>

クロス円もじわじわと下げています。

ユーロは128円あたりで下げ止まらないと下げが加速しそうです。

週明けから下がるリスクが高いため下げ止まるまで買いは様子見がよさそうです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

日本では4-6月期GDP（速報値）、7月貿易統計、6月機械受注、7月全国消費者物価指数などがあります。

米国では8月ニューヨーク連銀製造業景気指数、6月対米証券投資、7月小売売上高、7月鉱工業生産、パウエルFRB議長発言、7月住宅着工件数、FOMC議事要旨、前週分新規失業保険申請件数、8月フィラデルフィア連銀製造業景気指数などが発表されます。

欧州ではユーロ圏で4-6月期GDP（改定値）、7月消費者物価指数などがあります。

ほかにはニュージーランドで政策金利の発表などがあります。